

市内でサツマイモ基腐病の発生が 確認されました

現在、市は県とともに発生原因の究明及びまん延防止の対策を進めております！

サツマイモ基腐病まん延防止のために生産者へのお願い

皆様の圃場がサツマイモ基腐病菌の温床とならないよう

収穫後の残さの持ち出し・処分、早期耕うんの
ご協力を願いいたします。

『サツマイモ基腐病（カビの一種）』とは

○症状

葉やツルが黄色や赤色に変色して次第にしおれ、
株元が黒色から黒褐色に変色、枯死する。

○伝染方法

- ・基腐病感染の苗や種イモを植えることによって被害が広まる。
- ・発病株に形成された胞子から、風雨や湛水により、
周辺株に発病が拡大する。
- ・土壤中では、主に感染した植物残渣上で越冬する。

疑わしい症状を見つけたら・・・

茨城県県央農林事務所 経営・普及部門（029-227-1521）
へご連絡ください。

サツマイモ基腐病の症状（写真）や発生条件、
防除のポイントの詳細等につきましては、
茨城県病害虫防除所ホームページをご確認下さい。



令和7年5月16日
茨城県県央農林事務所経営・普及部門
(水戸地域農業改良普及センター)

サツマイモ基腐病に注意！（生育期）

1 播種後3週間頃に畠を見回りましょう！

生育中に基腐病に感染した株は、生育不良、株元の黒変を伴う葉の変色や枯死等が発生します。除草剤散布のような作業の際に畠全体をしっかり観察し、異常株の早期発見に努めましょう。

2 異常株があったら普及センターにご連絡を

基腐病に似たような症状の病害として、つる割病や立枯病がありますが、疑わしい症状が出ている異常株を発見したら、普及センターまでご連絡ください（TEL：029-227-1527）。

3 生育期に使えるサツマイモ基腐病の予防対策農薬

（令和7年5月14日時点）

商品名	希釈倍率	散布液量	使用方法	使用時期	本剤の使用回数
Z ボルドー	500倍	100～300ℓ /10a	散布	—	—
トリフミン 水和剤	2000～ 3000倍	100～300ℓ /10a	散布	収穫前日まで	2回以内*
	16倍	0.8～1.6ℓ /10a	無人航空機による散布	収穫前日まで	2回以内*
ジーファイン 水和剤	1000倍	200～300ℓ /10a	散布	収穫前日まで	—
I C ボルドー 66D	50倍	100～300ℓ /10a	散布	—	—
フロンサイド SC	1000倍	100～300ℓ /10a	散布	収穫30日前まで	2回以内*
アミスター20 フロアブル	2000倍	100～300ℓ /10a	散布	収穫14日前まで	3回以内
	12～32倍	1.6ℓ /10a	無人航空機による散布	収穫14日前まで	3回以内
クプロザート フロアブル/ クプロシールド	1000倍	100～300ℓ /10a	散布	発病前～発病初期	—
	32倍	3.2ℓ /10a	無人航空機による散布	発病前～発病初期	—
	16倍	1.6ℓ /10a	無人航空機による散布	発病前～発病初期	—

*本成分の使用回数は3回以内(但し、植付前の処理は1回以内、植付後は2回以内)